

1995年1月1日から2016年12月31日の間に

札幌医科大学附属病院整形外科において

骨肉腫の治療を受けられた方へ

「骨肉腫肺転移再発例の予後因子解析および予後予測モデルの開発に関する多施設共同研究－骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）多施設共同研究－」  
へご協力をお願い

研究機関名 札幌医科大学附属病院  
研究機関長 土橋 和文

研究責任者 札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 講師 江森誠人  
研究分担者 札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 診療医 村橋靖崇

## 1. 研究の概要

### 1) 研究の目的

「骨肉腫の治療成績向上」に関する研究を行っています。

骨肉腫の治療成績を検討して、治療成績向上のために改善すべき点を解明する研究を開始しました。骨肉腫の治療法の改良に役立てることを目的としています。

### 2) 研究の意義・医学上の貢献

この研究で得られた成果は、札幌医科大学附属病院の患者さんに限らず、広く全国の同じ疾患の患者さんの治療の改善に貢献し、多くの患者さんの治療成績の向上につながることが期待されます。

## 2. 研究の方法

### 1) 研究対象者

1995年1月1日から2016年12月31日までに札幌医科大学附属病院において、病理学的に四肢、体幹部の高悪性度骨肉腫と診断されて治療を受けて完全寛解したものの、その後の経過中に肺転移で再発した方が本研究の対象となります。

### 2) 研究期間

病院長承認日～2022年3月31日

### 3) 予定症例数

2019年4月1日の時点で当院20人（全体500人）を予定しています。

### 4) 研究方法

2005年1月1日から2019年3月31日までに当院において骨肉腫の治療を受けられた方で経過中に肺転移で再発した骨肉腫の患者さんの予後に影響する因子を明らか

にし、そのデータに基づいて予後予測ツールを開発すること、肺転移の完全な切除が可能な患者さんについて、手術以外に補助化学療法が必要か否かについて検討を行います。

#### 5) 使用する情報

この研究に使用するのは、当院のカルテに記載されている情報の中から以下の項目を抽出し使用させていただきます。分析する際には氏名、生年月日などのあなたを特定できる情報は削除して使用します。また、あなたの情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

・基本情報（性別、診断時年齢、腫瘍径、腫瘍の部位、病的骨折の有無）、手術情報（手術日、術式、切除縁）、治療情報（化学療法、放射線療法の有無と詳細、化学療法の組織学的効果）、予後情報

#### 6) 資料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は研究の中止または研究終了後3年間、札幌医科大学附属病院整形外科学講座内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で管理・制御されたコンピューターに保存します。その他の情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際には臨床研究審査委員会（倫理委員会）にて承認を得ます。

#### 7) 資料・情報の管理責任者

この研究で使用する情報は、以下の責任者が管理します。

札幌医科大学附属病院 整形外科学講座 講師 江森誠人

#### 8) 研究結果の公表

この研究は氏名、生年月日などのあなたを特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

#### 9) 研究に関する問い合わせ等

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。また、あなたの情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究に使用しませんので、2020年3月31日までの間に下記の連絡先までお申し出ください。お申し出をいただいた時点で、研究に用いないように手続きをして、研究に用いられることはありません。この場合も、その後の診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。ご連絡いただいた時点が、上記お問い合わせ期間を過ぎていて、あなたを特定できる情報がすでに削除されて研究が実施されている場合や、個人が特定できない形ですすでに研究結果が学術論文などに公表されている場合は、解析結果からあなたに関する情報を取り除くことができないので、その点はご了承ください。

<問い合わせ・連絡先>

臨床研究責任者： 江森 誠人 （講師）

札幌医科大学 医学部 整形外科

平日(9時～17時)：011-611-2111 (内線 33330)

夜間(17時～9時)・休日：  
札幌医科大学附属病院 4階西病棟 (内線 33410)